

# 平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

公益財団法人として2年目に当たる平成25年度は、規程類の整備等、公益法人移行後の必要な業務・手続きを行うとともに、定款第5条に定める事業の充実に努め、当財団に対する関係各層のいっそうの理解を深めるため次の事業を行いました。

## 1. 助成事業

### (1) 研究助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスの分野において、研究活動を行う研究者または研究機関に対して助成を行うものです。

本年度は、財団ホームページ上に募集要項および申請書を公開して、広く応募を募り、新規39件および特別課題研究継続助成4件の申請がありました。選考委員会において厳正に検討した結果、一般課題研究13件1,745万円、特別課題研究4件1,400万円の合計17件3,145万円が採択され、理事会の承認を得て交付を行いました。

### (2) 国際交流助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスの分野において、研究調査を行う研究者の海外派遣および海外研究者招聘に対して助成を行うものです。

本年度は、選考委員会において厳正に検討した結果、海外研究者招聘助成2件55万円が採択され、理事会の承認を得て交付を行いました。

## 2. 普及啓発事業

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する普及啓発を目的として毎年腸内フローラシンポジウムを開催しています。

本年度は、「第22回腸内フローラシンポジウム」として、外国人3名を含む合計7名の講師を招き、文部科学省の後援を得て下記のとおり開催しました

- ①開催日：平成25年11月1日（金）
- ②場 所： ヤクルトホール
- ③テーマ： 「腸内フローラと加齢」
- ④参加者： 520名

## 3. 事業推進

上記1、2の事業を適切に運営するため事業推進費を設け推進しました。

本年度も、選考委員会、シンポジウム運営委員会を開催・運営し事業を推進しました。特別課題研究報告会は平成26年3月19日に開催しました。

また、平成24年度シンポジウムの記録集「腸内フローラシンポジウム 21 腸内フローラとエコロジー ―食事・栄養・環境因子―」および財団年報第21号（平成25年版）を作成し、関係先に配布しました。

## 4. 管理業務

本年度は次の規程を整備しました。

- ①文書管理規程の制定
- ②選考委員会規程の改定
- ③シンポジウム運営委員会規程の改定